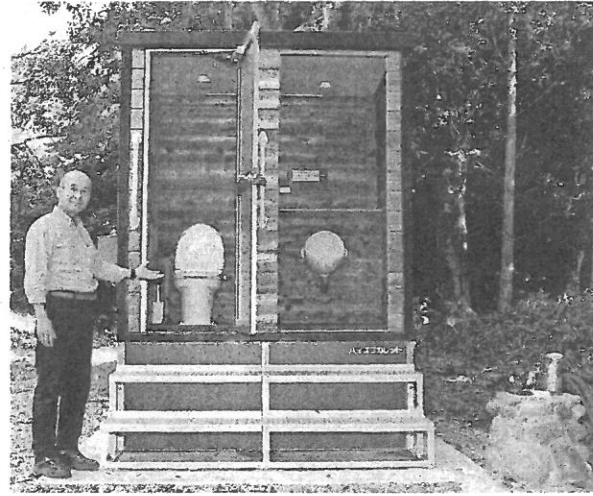


御許山登山客用にバイオトイレ

宇佐市、地元要望受け設置



御許山登山口近くに設置されたバイオトイレ。「気軽に利用してほしい」と岩男洋喜事務局長＝宇佐市

【宇佐】宇佐市は御許山(647㍎)の登山口(市内正覚寺)近くにバイオトイレを設置した。

バイオトイレは登山口から約200㍎下った白山神社の敷地内にある。モーターで処理槽に入っている杉チップと排せつ物を混ぜて微生物分解し、水と二酸化炭素にする。下水道設備や汚物のくみ取りが不要で、悪臭も少ないという。チップは2年ほどで交換が必要になる。設置費は約390万円。

地元の西馬城地域づくり協議会(今戸忠明会長)が清掃やトイレトパーの補充など管理を担う。独自で手洗い場もそばに整備

した。

御許山の頂上付近には宇佐神宮奥宮の大元神社がある。公共トイレの設置は登山客に自宅トイレを貸す地域住民らが望んでいた。

協議会の岩男洋喜事務局長(68)は「登山客を迎える環境が整った。気軽に利用してほしい」と話している。

(藤本昌平)

こたえ

『大分県の歴史』で
きざむという意味か

大分県の
歴史

Oita kei